学校推薦型選抜の概要

本選抜では、高等学校等での学業・人物像における成果と、入学後の学修および将来の社会貢献への意欲を総合的に評価しており、基礎素養検査では英語・数学(数学Ⅰ,数学 A)・国語・理科(物理基礎/化学基礎/生物基礎から 2 科目)の基礎的学力を測りつつ、推薦書や調査書を通じてこれまでの活動や人物像を把握するよう構成しています。これにより、大学での学修に積極的に取り組む意欲のある学生を多面的に評価しています。

■各科目の出題意図

出題科目	出題意図
英語	本科目は、高校教育における英語の基礎知識の定着度と、それを正確に運用する基礎的な技能を評価することを目的としています。大問Ⅰ・Ⅱの長文読解では、英文から情報を把握し、論旨を理解する基礎的な読解力を測ります。 また、大問Ⅲ～Ⅴでは、文法、語法、語彙、会話表現といった言語知識の理解を問うことで、学習の定着度を確認します。加えて大問Ⅵの整序英作文では、基礎知識を統合して自然な英文を構成する能力を測定する設問構成としています。
数学Ⅰ,数学 A	本科目は、問題文を読み解く力、定理や解法などの知識、解に到達するまでの道筋を論理的に考える力や計算力など、基本的な知識や力を確認するように出題しています。また、出題範囲の各分野ごとの問題だけではなく、複合問題に対処する応用力を確認することもあります。そのため、出題範囲の各分野から偏りなく出題するようにしています。さらに、マークセンス方式に合わせた出題に対応できる柔軟性も必要としています。
国語	本科目は、国語に関する基本的な知識と、文章を正確に読み取る力、物事を論理的に考える力を測ることを目的としています。Ⅰでは、近代以降の論理的な文章を題材とし、漢字や接続語などの基本的な知識を身につけているか、文脈を踏まえて論旨を適切に理解しているかを問うことを重視して出題します。Ⅱでは、国語に関する基礎的な内容を中心に出題します。
物理基礎	本科目は、受験者の日常の力学、電気、波などの現象に関して物理的な考え方ができるかを問うことを目的としています。特に、教科書で学ぶ物理法則を正しく理解しているかを判断するために教科書程度の基礎的な問題を中心に設問構成しています。
化学基礎	本科目は、高等学校における化学基礎の学習内容を通して、物質の構成や変化の基本原理を理解し、与えられた情報から論理的に考察する力を測定することを目的としています。特に、物質の分類、化学反応式、物質量計算、酸塩基・酸化還元反応などの基礎事項について、知識の正確さと数量的・概念的理解力を評価します。また、実験操作や計算問題を通して、観察、判断力を総合的に確認します。
生物基礎	本科目は、大学での学修に必要となる生物の特徴や多様性、それを取り巻く環境およびヒトの体内環境に関する知識の定着度と理解度を確認します。また、図・表を用いた計算問題で基本的な思考力を判断します。